

## 再入院率計算機能を用いた地域包括診療料等の 効果測定方法

北海道国民健康保険団体連合会  
医療介護連携支援企画本部

### 1 趣旨

再入院率計算機能を用いて再入院との関係で地域包括診療料等の算定効果を測定する方法を示す。

### 2 定義

地域包括診療料等とは、地域包括診療料 1、地域包括診療料 2、地域包括診療加算 1 及び地域包括診療加算 2 をいう。

### 3 データの抽出、判定と出力の内容

- ① 再入院率計算機能で生成した入院レコードに、包括算定判定、包括算定日及び包括効果区分の各項目を追加する。初期値はゼロとする。
- ② 入院レコード中の「初回退院判定」欄が 1 である患者について、初回退院日から 1 年の期間内の外来レセプトをレセプト点検システムのデータベースで検索し、地域包括診療料等の算定の有無を判定する。
- ③ 算定がある場合は、初回退院である入院の入院レコードの「包括算定判定」欄に 1 を、「包括算定日」欄に算定のあった年月日を記入する。算定が複数回ある場合は、算定のあった最も早い年月日を包括算定日とする。
- ④ 算定の有無と再入院の有無の組み合わせにより次の 4 つの区分を設定する。  
区分 1 : 「包括算定判定」欄と「再入院 1 年以内のある初回退院判定」欄の両方に 1 があり包括算定日が最も早い再入院の入院日より前である場合  
区分 2 : 「包括算定判定」欄に 1 があり「再入院 1 年以内のある初回退院判定」欄がゼロである場合  
区分 3 : 「包括算定判定」欄がゼロで「再入院 1 年以内のある初回退院判定」欄が 1 である場合、又は、「包括算定判定」欄と「再入院 1 年以内のある初回退院判定」欄の両方に 1 があり包括算定日が最も早い再入院の入院日より後である場合  
区分 4 : 「包括算定判定」欄と「再入院 1 年以内のある初回退院判定」欄の両方がゼロである場合
- ⑤ 上記の区分に従い、1 から 4 までの数字を初回退院である入院の入院レコードの「包括効果区分」欄に記入する。
- ⑥ 「包括効果区分」欄に 1 から 4 までの数字のある初回退院の件数を区分ごとに集計し

て出力する。

#### 4 出力後の分析内容

出力後に国保連合会は次の方法で分析を行う。

- ① 区分1を算定あり再入院あり、区分2を算定あり再入院なし、区分3を算定なし再入院あり、区分4を算定なし再入院なしとした $2 \times 2$ のマトリックスを作成し、初回退院件数を記入する。（この場合、初回退院件数は初回退院した患者数と同義である。）
- ② マトリックスについてカイ二乗独立性検定を行うことにより統計的に有意な関連があるか検討する。
- ③ 有意な結果が得られれば $\phi$ （ファイ）係数を計算することにより関連の強さを測定するとともに、リスク比を計算することにより再入院の有無に及ぼす影響の度合いを測定する。